

# 飛鳥びと

古きもの  
秋から  
冬へ  
No.17

2023年  
秋から  
冬へ  
No.17



秋を奏でる（上居）



写真 / 加藤秀行

舒明天皇・  
飛鳥時代の第34代天皇  
在位期間629-641。崩去49歳  
  
秋の盛りの鳴き声は牡鹿が一緒に寝る牡鹿を求めるラブ・コール。  
秋の一つの風物詩です。  
はたと気付いてみれば、鹿の声がいつか途絶え、牡鹿はいとしい牡鹿と出会つたのでしよう。  
そして、秋は去り、冬があたりに忍びよつてくる季節です。  
この歌は単純にみえますが、自然とかな心がじみ出でていて優しい気持ちに癒されます。

夕方になるといつも小倉山で鳴いている鹿は今夜は鳴いていない。  
もう鹿は寝てしまつたのかなあ。  
舒明天皇（巻八一五一二）

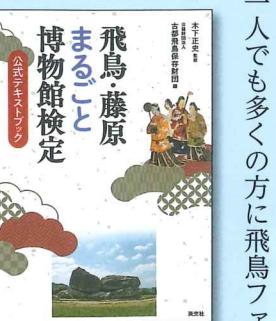
夕されば  
今夜は鳴かず  
小倉の山に  
い寝にけらしも  
鳴く鹿は



古都飛鳥保存財団では、令和6年2月10日に「飛鳥・藤原まるごと博物館検定」初級編を実施する予定です。  
「飛鳥・藤原検定」とは、飛鳥・藤原の地における文化資産や歴史的風土の価値と魅力についての理解を深め、幅広い知識を身につけていただくための機会を提供することです。様々な年齢層に及ぶ飛鳥・藤原ファンの裾野や関心を広げるとともに、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原」に対する認知度向上や登録への機運醸成を図ることを目的としています。

検定を実施するにあたり、「飛鳥・藤原」に関する様々なジャンルを集約させた公式テキストを10月初旬に発刊予定です。本書を執筆いただいたのは、検定試験委員会の先生方になります。歴史や考古学・万葉はもちろん、飛鳥・藤原地域における自然環境や民俗・伝承・文化など飛鳥時代から現までが一冊に集約されています。検定を受検される方だけでなく、飛鳥・藤原地域を散策される方にもガイドブックとしておすすめの書籍となっています。

本書が一人でも多くの方に飛鳥ファンになつていただけるツールとなることを願っています。



A5版 488ページ  
本体2,400円(税別)

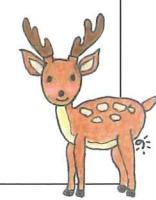
まるごと博物館検定  
公式テキスト発刊

日本人の心のふるさと～その保存と未来のために～

発行・お問い合わせ 公益財団法人 古都飛鳥保存財団 〒634-0138 奈良県高市郡明日香村大字越13-1

TEL : 0744-54-3338 FAX : 0744-54-3638 E-mail : info@asukabito.or.jp

HP : <https://www.asukabito.or.jp> インスタグラム : koto\_asuka



牽牛子塚古墳100周年  
「国史跡」のはじまり  
とくと越えて  
明日の明日香へ

100周年記念イベント時の様子



